

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	安八町立登龍中学校		
実 施 期 間	平成25年10月19日(土)～12月6日(金)		
実 施 概 要	①PTA講演会(岐阜国体で活躍したスポーツ選手の話) ②文化祭(合唱披露:地域・保護者に向けての成果発表) ③あったかい言葉かけ運動		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	263人	計 348人
	地 域 関 係 者	85人	
実 施 状 況	①岐阜国体競泳(バタフライ)で優勝した選手を招き、県の代表として目標をもって練習に励んだ様子や、強い選手になるための条件(精神力や日常の人との関わり方等)について話を聞いた。 ②本校の伝統となっている「第九合唱」を今年度も行った。昨年よりもよいものという気持ちで、練習に励んだ。通信や広報で、地域の方々にも文化祭の参観を広く求めた。 ③「人権週間」に合わせ、校内でも人権について考える取組を行った。生徒会執行部が中心となり、ちょっといい話を募集し、校内に広めたり、学校通信で保護者に広めたりした。その後はあったかい言葉かけ運動として継続している。		
成 果 及 び 課 題	①岐阜県の代表としてのプレッシャーに打ち勝ち活躍する選手の話聞き、生徒は、ふるさとを愛する気持ちや、目標に向かって努力する大切さを感じた。また、保護者と一緒に話を聞いたことで、家庭で共通の話題ができ、将来の夢や現在の生活について親子で話し合うことができた。 ②「昨年を超える文化祭にしたい」という気持ちが、限られた時間の中でより質の高い合唱を求める生徒の姿につながった。当日は、保護者や地域の方々から、今までで一番いい合唱だったという評価をいただき、これまでの伝統を築きつないでくださった方々への感謝の気持ちをもつとともに、伝統の重みを改めて感じる日となった。「第九合唱」は登龍中だけの伝統ではなく、地域の伝統、町の誇りとなっている。 ③全校生徒が集会で、誰かの一言に救われた経験や、誰かの行動に周りの空気が温かくなった経験等を交流し、言葉の使い方や仲間への関わり方等を考える機会となった。学校通信で生徒の話を広めることで、家庭や地域でも人権について考えることができた。あったかい言葉かけ運動として、定期的に生徒や保護者から話題を集め、認め合える集団にしていきたい。 【課題】各活動を線をつなぎ、生徒の心を継続的に耕していくこと。		